



緑っ子だより

校訓／教育目標
かしく やさしく たくましく

豊かな心とたくましさもち
夢に向かって伸びる緑っ子の育成

宇土市立緑川小学校
平成31年2月15日号
文貴 谷口育聖

子どもたちによるいじめ防止推進事業の総括

平成29・30年度、住吉中校区3校で標記の事業に取り組みました。

「生きる力を身に付け、郷土愛と自他を大切にすることをもち、夢に向かって努力する住吉っ子の育成」をテーマに、事業を3つの部会に分け、3校の職員が分担して次のような実践をしてきました。

学び部会

- ・「分かる・楽しい」授業づくりを目指した公開授業(網津小)
- ・緑川小学校での3校公開授業(全学年公開授業)
- ・「学びのものさし」の3校共通実践事項共通理解

心の育成部会

- ・三校合同リーダー研修会
- ・三校共通スローガン作成
- ・教育講演会の実施
- ・心のアンケート実施
- ・道徳授業研究会
- ・人権作文・標語作成
- ・資源物回収活動

健康づくり部会

- ・朝のランニング
- ・全校体育、全校遊び
- ・体験入学での縦割りレクリエーション、縦割り給食
- ・中学生による小学生への陸上、水泳指導
- ・ノーメディアデーの実施

上記実践を行うにあたって、研究推進委員会を設置し、全体会や実務者会議、部会を3校合同で開催してきました。また、これまで行われてきた三校二園連絡会や住吉けんこう委員会の実践も組み込み、小中合同での学校運営協議会の開催等も実施してきました。全体のリーダーは住吉中学校生徒会です。小中合同リーダー研修会での活動をもとに小中合同あいさつ運動や小中合同での地域資源ゴミ回収活動の実施、中学校体験入学及び部活動体験を今年度も継続して実施しました。



5年生が進める児童集会

小中学校ですでに児童会・生徒会の交代が行われ、本校では5年生主体の活動が始まっています。登校班での班長交代や児童集会、発表集会、全員遊びではリーダーシップを発揮しています。この事業は、今年度で終了しますが、これまでの取組の中で継続すべき事業は継続しながら、全ての子どもたちが学校を安心・安全な居場所となるよう、「学校が好き」「みんなと遊ぶことが好き」という子が100%になるように取り組んでいきたいと思ひます。

熊本県ドッジボール選手権大会

去る2月10日(日)、合志町ヴィーブルで標記大会が行われました。本校からは、5、6年で編成する2チームが参加しました。なじみ深いスポーツですが、ルールが複雑で体だけではなく頭を使うスポーツになっています。しかし、子どもたちは試合に集中し、2チームとも予選2位で決勝トーナメントに進みました。結果は、4位とベスト8でした。参加者は、大会前2週間、しっかり練習をしていました。



熱戦を繰り広げる子どもたち

今週土曜日には、宇土市ジュニア駅伝が花園の立岡公園周回コースで開かれます。これも参加希望する子どもたちで、放課後何度も練習を重ねてきました。5チーム参加予定です。こちらにも応援に駆けつけたいと思ひます。

授業参観(性教育)

2月2日(金)、全学年公開の性教育が行われました。多くの資料を使い、1年生から6年生まで系統立てて授業が展開されました。保護者の方も参加する学年もありました。命、人権、平等など大切な内容が凝縮しています。



5年生での授業

宇城小中学校書き初め展入賞、おめでとう 【賞名】

- 1 年 【特】正木 こう 【天】本田ゆいな 【地】稲田あやと
【地】佐藤 るあ 【人】竹下たくま
- 2 年 【天】宮田 桃花 【地】宮崎 小雪 【人】福里 青海
【人】上田まさひろ
- 3 年 【人】稲田 優那
- 4 年 【人】宮田聖士琉 【人】今村 元紀 【人】三星 葉柳
- 5 年 【人】今村 咲月 【人】竹下 徳仁 【人】横山 凜
- 6 年 【人】宮本 真輝 【人】松川 未紘 【人】大久保汰一
- 作品は1年間児童玄関付近に飾られます。(学年1点)



ハートフルフェスタinうと

2月2日(土)、宇土市民会館大ホールで標記フェスタが催されました。毎年この時期に、人権・男女共同参画・生涯学習で輝くまちづくりというテーマのもと宇土市教育委員会等が主催し学校発表や講演会が行われます。



松本るきなさん(右端)

今年は、主催者の元松市長のあいさつに続き、宇土市子ども人権作品の表彰が行われました。本校からは、「標語の部」で稲田あやとくん(1年)、「ポスターの部」で松本るきなさん(2年)の作品が優秀賞に選ばれました。二人はステージに上がり、名前を呼ばれると元気のよい返事をする事ができました。

ともだちは たいせつにしたい たからもの(あやと)

また、ロビーには、パネル展や講座の紹介、作品展示等があり、多くの来館者で賑わっていました。さらに、走瀉小学校3、4年生の演奏のあと、元RKKアナウンサーの村上美香氏を講師に「生きやすい世の中って?」と題して80分間の基調講演がありました。



村上美香さん

局アナを辞めた理由が、母の「命」や牛の「命」、犬の「命」と関わる人々の思いを伝える使命があるという講師の熱い思いが最後まで途切れず伝わってくる素晴らしい講演でした。



稲田あやとくん(右端)



インタビューを受ける司さん

教育研究論文実践記録の表彰

どの学校も学力向上のため1年間テーマを設定して授業づくりを研究し実践していきます。本校は今年度、次のようなテーマを設定しました。

自分の考えを表現し、よりよい学びをともに追求しようとする児童の育成

～読む力を身に付けさせる国語科指導を中心として～

担任や専科、全ての先生が授業を公開し、テーマに沿って自分でたてた目標に向かって実践した成果を、研究主任(本田先生)を中心に論文形式でまとめました。この度の教育論文表彰式では、『佳作』に選出されました。他にも青木教頭先生、池田佑未先生も個人の部で応募し賞をいただきました。これからも、研究実践を充実深化させ、児童の学力向上に寄与したいと考えています。



